

# 沿革

時代とともに、社会とともに —— 技術力を原動力に進化し続ける、富士電機

## Company

1923 富士電機製造株式会社 創業  
日本の古河電気工業と、ドイツのシーメンス社との資本・技術提携により設立。富士電機には、日本のDNAとドイツのDNAが交錯している。



社章・FSマーク

- 1925 川崎工場操業開始
- 1942 松本工場操業開始
- 1943 吹上工場、東京工場操業開始
- 1944 三重工場操業開始
- 1961 千葉工場操業開始
- 1968 神戸工場、鈴鹿工場操業開始
- 1970 米国富士電機社設立（現：富士電機アメリカ社）
- 1973 大田原工場操業開始
- 1984 商号変更  
富士電機株式会社
- 1987 フジエレクトリックゲーエムベーハー設立（現：富士電機ヨーロッパ社）
- 1988 富士電機 パワーサプライ社設立（現：富士電機 マニュファクチャリング（タイランド）社）
- 1989 シンガポール富士電機社設立（現：富士電機 アジアパシフィック社）
- 1991 山梨工場操業開始
- 1995 富士電機（タイランド）社設立
- 1995 フィリピン富士電機社設立
- 1996 マレーシア富士電機社設立
- 1999 富士電機（上海）社設立（現：富士電機（中国）社）

2002 シンボルマーク導入（写真①）



- 2003 純粋持株会社制移行により商号変更  
富士電機ホールディングス株式会社
- 2003 大連富士冰山自動販売機社設立
- 2008 富士電機機器制御株式会社が  
日本法人 シュナイダーエレクトリック株式会社と事業統合  
（受配電・制御機器事業における合併）
- 2008 日本 ガイシ株式会社と水処理の事業を統合し、  
メタウォーター株式会社設立

2009 富士電機 インド社設立

2010 筑波工場操業開始

2011 商号変更  
富士電機株式会社

2011 富士電機 インドネシア社設立

2013 富士電機 ベトナム社設立

2014 製品用企業 ブランド表示新設（写真②）



写真②

## Technology

1924 電動機の製造開始（写真③）



写真③

1925 変圧器の製造開始

1930 水銀整流器の製造開始

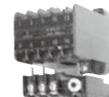
1936 水車第1号機4,850HP  
フランス水車の製作（写真④）



写真④

1937 電力量計の製造開始

1954 超小型電磁開閉器の製造開始（写真⑤）



写真⑤

1955 火力発電事業へ本格的に進出

1959 シリコンダイオードの製造開始

1965 南極観測船「ふじ」に電気推進装置を搭載

1966 東海原子力発電所に原子力圧力容器などを納入

1966 中大容量UPS（200kVA）の発売



写真⑥

1969 自動販売機の発売（写真⑥）

1973 オープンショーケースの発売

1974 設置型超音波流量計の発売

1975 バイポーラトランジスタの製造開始

1976 汎用インバータの製造開始（写真⑦）



写真⑦

1977 当社初の本格的な地熱発電設備の受注

1980 プログラマブルコントローラ  
（MICREX-P）の発売

1988 世界初のEIC統合型制御システムを鉄鋼会社向けに納入

1988 第1世代IGBTの製造開始（写真⑧）



写真⑧

1997 世界初の平形IGBTを適用した  
新幹線用主変換装置の納入

1997 第4世代IGBTの製品化による系列拡大

1998 100kWりん酸形燃料電池の納入

2002 環境放射線モニタリングシステムの納入



写真⑨

2010 次世代パワー半導体  
SiCモジュールの開発（写真⑨）

2011 ハイブリッドヒートポンプ自動販売機の発売

2012 メガソーラー用パワーコンディショナの発売

2016 車載用直接水冷型パワーモジュールの出荷開始  
（RC-IGBT内蔵）

2017 SiCを適用した新幹線用主変換装置の納入

2017 国内最大級の地熱バイナリー発電設備の納入

2018 産業機器用第7世代RC-IGBTの出荷開始

2018 船舶用排ガス浄化システムの納入

2019 アナリティクスAI搭載 現場型診断装置を発売（写真⑩）



写真⑩